



近江守山ライオンズクラブ 第1365回例会 5月第1例会 スローガン「変革しながら・楽しく We Serve」

2020年5月14日(木)資料

<5月第一例会 CN56+h記念例会>

新型コロナウイルスが世界に蔓延する中、4月17日より滋賀県も含めた全国が緊急事態宣言下となり、経済活動を初め、日本全体の自粛状態が現在迄継続されて来ました。しかしここに来て、大阪モデルと言った自粛解除に向けた動きや、本日特別警戒区域外の宣言解除への動きと成り。滋賀県での宣言解除の条件等の発表もあるとのことですが、気を抜くことは出来ませんが、少しでも通常の生活に近い状態に戻ればと願います。

少し話がそれますが、昨年スウェーデンの少女で環境活動家のトゥーンベクさんが、国連などで地球環境問題について、小泉環境大臣や世界の首脳とバトルをされていました。本来ならライオンズクラブを含め、世界の国・人により環境問題改善の取り組みをするところ、コロナの影響で世界中が自粛となり、海水温が下がったり、海や川の透明度が上がったり、大気の汚染度合いが下がるなどのニュースが在り、複雑な気持ちになります、皆さん如何思いますか。

さて、現在の近江守山ライオンズクラブの活動に戻しますが、過日5月7日にFAXにて寄付金募集をさせていただきました。これは、社会奉仕団体である近江守山ライオンズクラブも何かできないかと声があり、守山市に相談させていただいた所、現在、医療機関で不足している防護服などの医療備品を寄贈させていただくこととなりました、現在すでに半数近くの会員様にご寄付いただいているところです。このような時に会員様にはご負担申し上げていますが、ご理解お願い申し上げます。尚、贈呈式につきましては5月21日(木)に市長を交え執り行う予定と成っております。

又、近江守山ライオンズクラブの代名詞である献血事業におきまして、34年連続献血100万ミリリットルが達成となりました。これも、会員皆様による、紹介や奉仕の賜物です有り難う御座いました。つきましては、このような時期ですので多くの会員の皆様に来て下さいとは言にくいですが、5月23日(土)にモリーブ守山にてセレモニーを執り行わせていただきます。

又、7月から次年度L鵜飼による新年度がスタートをするに当たり、次年度各委員会さんが3密を避けながら、動き出しています。2020-2021近江守山ライオンズクラブ活動が有意義な物となるよう願っています。

最後に、2019-2020近江守山ライオンズクラブの残りわずかとなった例会など何か良い開催方法など無いものか考える日々です。335-C地区内でも、クラブ規模等にもよりますが、リモート例会など開催されているところも出てきています。緊急事態宣言の解除条件や情勢にもよりますが、SNSや新しいスタイルによる開催方法など探っていくため、皆さんのお知恵等をお借り出来ればと思います。とにかく全てが初めての経験です、今だからこそライオンズの友情と結束と知恵で今を乗り切って行きましょう。



近江守山ライオンズクラブ
会長 八田 大作

最近、新型コロナウイルスの関係で、明るい話題が少ないです。少しでも明るい話題になりそうなものを個人的な主観で編集記載しました。

「脱・2番手意識」でヒット連発

2020年2月3日、全国のコンビニエンスストアの菓子売場の光景が変わりました。『湖池屋のプライドをかけた本気の美味さ』。そのように書かれたポップとともに……。棚の横一列にずらりと並んだのは、リニューアル発売したばかりの湖池屋『プライドポテト』。

『プライドポテト』の単価は普通のポテトチップスよりも数十円高い。単価の高い商品の売れ行きが好調に推移していることで、湖池屋の業績は回復基調にある。

しかし過去を振り返ると、カルビーとの価格競争に苦戦し、カルビーのシェア7割程に対し、2番手の湖池屋はシェア2割しかない。規模でも劣るだけに製造コストの低減にも限界があり、厳しい戦いを迫られていた。

価格で勝負できないなら、商品ラインアップを増やして存在感をアピールするしかない。競合の動きばかり気にして、どこかで見たような商品ばかり増えていた。とにかく数をこなすことに必死で、商品を作り込む時間も、消費者を見る余裕もなかった。

「人の無意識の行動」を起点に、「その業界で最高のものを作る」。その言葉を基に企業理念を現代版にアップデートし、社内の意識改革を行った。消費者が欲しいと思うような商品を作り上げる。通常のポテトチップスに比べて単価が高くても納得してもらえる商品。店頭価格1袋当たり130円前後と高価格にもかかわらず想定以上の受注を獲得した。

「競合他社は見るな。消費者行動を探ろう。」最近の健康志向の高まりで、ポテトチップスではなく、煎餅を選ぶ人が多くいる。

ポテチではなく、芋本来の味を楽しめるお菓子。そうした発想で、パッケージに刻まれたのが「1枚1枚、野菜の味が濃い」や「芋まるごと（食塩不使用）」という商品。

中長期的に利益率を引き上げていくためにも高付加価値商品の割合を増やして行く。トップはもちろん、社員に意識まで全てを根本から変えなければ生き残ることは難しい。老舗、湖池屋の変身は、企業の寿命を延ばすための1つの手本となるでしょう。。。。

編集：門脇 征一



<諸会合の報告>

5月 11日 (月)	18:30	守山商工会議所	次年度コミュニティ委員会
5月 12日 (火)	18:30	クラブ事務局	次年度財務広報委員会
5月 14日 (木)	18:30	守山商工会議所	次年度献血事業部会
5月 19日 (火)	18:30	守山商工会議所	次年度TT・LT・計画大会委員会

<諸会合の予定>

5月 21日 (木)	12:30	クラブ事務局	会員委員会
5月 21日 (木)	18:30	守山商工会議所	5月理事会

※ 予定につきましては今後の状況で変更させていただく場合があります。ご了承ください。

委員会報告



5月ライオンズレート = 106円

会員委員会 5月21日(木) 12:30~ クラブ事務局



献血事業部会

実施	実施場所	献血量	労力奉仕(L略)	献血紹介カード
5月2日(土)	ピエリ守山	22,800mL	AM 吉川 八田 森本 鶴飼 門脇 PM 八田 森本 鶴飼 門脇 田中佳	吉川 1名
5月5日(火)	モリーブ	30,000 mL	AM 吉川 八田 森本 鶴飼 小西 林 森田 PM 片岡 吉川 八田 森本 鶴飼 田中佳 近藤	近藤 2名 山本 2名
5月9日(土)	すこやかセンター	20,800mL	AM 杉江 大林 八田 森本 鶴飼 田中佳 林 森田 山本 中本 PM 八田 森本 鶴飼 門脇 田中佳 近藤 森田 山本	大林 1名 南井 2名 藤本 1名 森本 6名 鶴飼 7名 渋谷 2名 門脇 1名 田中尚 1名 小林幹 1名 山本 3名 中本 1名 献血)八田 近藤 森田
4月29日-5月10日	滋賀県赤十字血液センター	6,200mL	紹介)小林久1名 森本1名 鶴飼6名 中本2名 献血)小林幹 中本	
滋賀県赤十字血液センター紹介カード累計		60,200mL		
献血バス会場累計		1,009,600mL		
毎週金曜 草津献血ルーム 近江守山ライオンズクラブ DAY 累計		965,000mL		
総累計		2,034,800mL		

献血奉仕案内

実施日	場所	時間	5月Bチーム担当(L略)
5月23日(土)	モリーブ	10:00~11:30	吉川 辻
		13:00~16:00	片岡 門脇
5月24日(日)	ピエリ守山	10:00~11:45	吉田 森田
		13:00~16:00	片岡 近藤
5月30日(土)	平和堂守山店	10:00~11:45	辻 高橋 吉田
		13:00~16:00	森本 門脇

獅子吼

SISIKU 715

2020年5月14日

編集発行 財務広報委員会

2020年5月10日（日）
＜緊急事態宣言下に思う事＞

祭りが無くなり世の中から灯が消えたように淋しい、神社での神事のみ行事となった。

2020年4月9日・L.遠藤のメッセージによれば、1720年ペスト、1820年コレラ、1920年スペイン風邪、2020年コロナ肺炎流行とある。100年毎に繰り返される人間への試練をどう考えるのか。そして平安時代800年代の天然痘で全人口の4分の1（人口400万人中100万人が死亡）が亡くなった時代をどう学ぶのか。当時の人々は神の怒り、勅命と受け取り、多分成す術もなく神仏に祈った事だろう。医学や化学の発達していない時代の人々は、心の安らぎを求め信仰の力で病と闘った。日本人だけを見れば、世界の著名な方々（ルイスフロイス・シーボルト・ライシャワー等）が、日本民族の優れた人間性を大層褒めて頂いている。

今の日本人は、その頃と比べてどうだろう。身体は余り変わらないと思うが（多少の運動性の向上、背も高くなった）、精神性の質と強さは比べようも無い。身を徹して自然に立ち向かう仕事、社会への貢献心、愛国心、人間関係の強さは歴史を見れば明らかである。

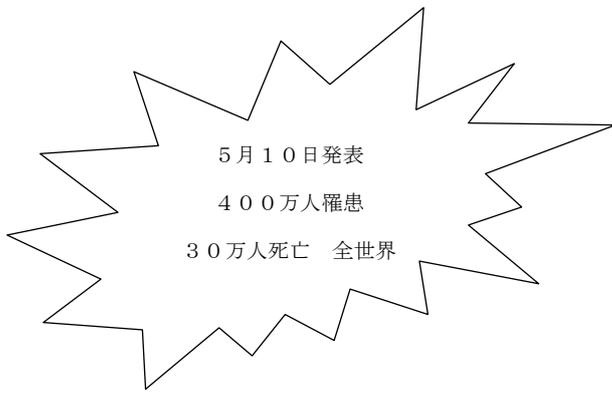
「虚心坦懐、悠々自適、唯我独尊、行雲流水」何物にも動じない心を鍛えたいもの。病気もいつの間にか治っている（一番は自己治癒力）症状もあり、人に迷惑をかけず、自愛しながらこの難局を乗り越えたい。日本の死亡率4%（世界7%）のコロナ肺炎は既往歴のある高齢者が一番危ないとの事。歩いていても交通事故のある時代、心配が心配を呼ぶ、今の時代はTV、SNS、新聞等のスピードが早過ぎて悪い。もう一度、スローライフ（慌てる乞食は貰いが少ない。ファストフードは体に悪い等ゆっくり考え、ゆっくり行動するのも一考）を満喫してはどうかと思う。

「先日の京都新聞にウイルス戦争で人類が勝ったのは天然痘だけとの事。長いものに巻かれろではないが、ドンキホーテにはなりたくない。」



— 緊急事態宣言を受けて無理矢理ゆっくりしている短気な老人 —

近江守山ライオンズクラブ
南井 繁樹



新型コロナ肺炎 天井知らず！！
5月14日（木）
「CN56th記念例会」中止！

熱、紫外線、湿気に弱いとされる新型コロナウイルスの本当の弱点は？私達人間が営んできた文化、社会、経済のすべてが停滞し、いまや瀕死の状態である。世界分業、産業、経済、文化、科学のグローバル化が真逆の剣となり、我々に突きつけられている。人間以外の動物、植物は新型コロナに罹らないのだろうか？

文化文明科学の粋を極め、いまや地球人口70億と一番強大な力を持った筈の人類が目に見えないウイルスに翻弄されている。ある人は神の意志、怒りといい、又ある人は人為的人口抑制（多分に悪意）だと…。

何れにしても世界恐怖（安倍首相）、世界同時多発テロ（トランプ大統領）よりも酷いといつ形容を考えれば、20数億の患者、140万人の死者（何もしない、医療崩壊、万策尽きれば）の初期のWHOの警告が真に迫ってくる。

神仏の加護、世界中の善意なる人々の祈りで一日も早いワクチンの開発、特効薬の発明が切に待たれる。（一説には集団感染、集団免疫しかないと！）

“諸人こぞりて 又会う日まで“

<新俳句>

- ・ 只今を生きる。 「 瞬きの 時の重さぞ コロナ風邪 」
- ・ 思い出は人生の宝。 「 過ぎし日の 想い愛しむ 言の葉よ 」
- ・ 隣人を愛せよ。 「 幸せと 不幸の差こそ 慈しみ 」

・・・ 玉樹 ・・・



近江守山ライオンズクラブ 南井繁樹

